

バイク充電器

取扱説明書

保証書付



このたびはバイク充電器をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書の注意事項および、使いかたをよく読んで正しくお使いください。また、充電するバッテリーの取扱説明書もあわせてお読みください。
なお、この取扱説明書には保証書がついております。読んだ後も大切に保管してください。

BAL

大橋産業株式会社

〒570-0033

大阪府守口市大宮通3丁目1番14号
TEL(06)6996-2631(代)

URL <http://www.bal-ohashi.com>

商品に関するお問合せは：



0120-076-074

※携帯・PHSからもご利用になれます。

(受付：平日9時～12時／13時～17時30分)

もくじ

安全にお使いいただくために	P.1～2
用途／充電できるバッテリーの種類・仕様／各部の名称	P.3
使いかた	
バッテリーにつなぐ前に／充電ケーブルをバッテリーにつなぐ	P.4
本体と充電ケーブルをつなぐ／電源プラグを差し込む	P.5
充電を始める	P.6
充電完了／維持充電を行う場合／使用しないときは	P.7
使用上の注意／保管上の注意／ヒューズの交換／保護回路について／製品仕様	P.8
故障と処置	P.9
保証書	P.10

■ 安全にお使いいただくために

ケガや事故を防ぐために必ずお守りください。

絵表示について：

この取扱説明書に示した注意事項は、本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じると想定される内容を「危険」、「警告」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要なことですのでよく理解し、必ずお守りください。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■ 表示について

重要

この表示のある記載内容は、ご使用になるうえで非常に重要な内容を示しています。本製品をご使用になる前に必ずお読みください。



よくあるお問い合わせをまとめています。



重要

漏電や感電、火災、ケガの原因になりますので、必ず以下の内容をお守りください。

- 製品本来の用途以外では絶対に使用しないでください。
- 本製品は日本国内での使用を目的として設計・製造されています。海外での使用はできません。
- 分解、改造は絶対にしないでください。
- タバコや可燃物、および火気の近くで使用しないでください。
- 入り口を閉めた車庫など、密閉された場所ではバッテリーの充電をしないでください。風通しの良い場所で使用してください。
- 子供や乳幼児の手の届く場所で使用しないでください。
- 本製品はAC100V入力専用です。他の電圧では使用しないでください。
- 火気の無い十分に風通しの良い場所で使用してください。バッテリーが引火、爆発することがあります。

△ 警告

重要

漏電や感電、火災、ケガの原因になりますので、必ず以下の内容をお守りください。

- P.3に記載されている種類、仕様以外のバッテリーに使用しないでください。
- ニッカドバッテリー、ニッケル水素バッテリー、リチウムバッテリーの充電に使用しないでください。
- 一次電池（アルカリ電池、マンガン電池など）に充電しないでください。
- 本製品や充電しているバッテリーに、発煙、過熱や異常音、異臭などの現象が発生した場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、弊社またはお買い上げの販売店に連絡してください。
- 電源プラグ及び充電ケーブル、充電クリップが損傷している場合は使用しないでください。
- 充電ケーブルを無理に曲げたり、上に物を載せたりしないでください。
- 以下のような場所で使用しないでください。
 - ・ 落下しやすい場所・直射日光が当たったり、高温になる場所
 - ・ 振動の多い場所・塩害やホコリの多い場所
 - ・ 化学性ガス害を受ける場所
- 本製品の上に重いものを載せないでください。
- 劣化したバッテリーに充電を行った場合、バッテリーが過熱、液漏れする恐れがあります。このような現象が発生した場合は、すぐに充電を中止してください。
- バッテリーを順次取り替えて本製品を連続で使用しないでください。本製品の故障の原因になります。
- 極端に長い延長コードを使用すると、入力電圧の低下により製品に不具合が発生する可能性があります。
- 医療機器に類する物や社会的・公共的に重要な機器、事業用には絶対に使用しないでください。
- 温度範囲内(0°C~40°C)で使用してください。

■用途

以下に記載されている仕様のDC12Vバイク用バッテリーの充電。

■充電できるバッテリーの種類・仕様

電圧：DC12V

バッテリー容量：

2.3Ah～30Ah
(10時間率容量)

- オーブン（開放型）バッテリー



バッテリーの上面にある液口栓（バッテリー液を補充する穴の栓）を開けることができるタイプ

- シールド（密閉型）バッテリー



バッテリー液の補充が不要のタイプ

- ドライセルバッテリー（ドライバッテリー）



完全密閉されており、横に倒した状態でも使用できるタイプ

※ニッカドバッテリー、ニッケル水素バッテリー、リチウムバッテリーの充電に使用しないでください。

■各部の名称

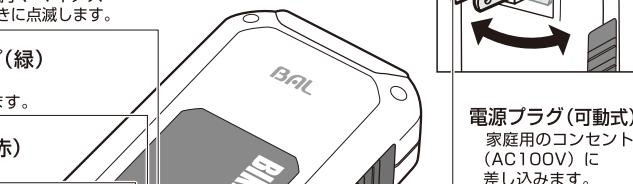
PROTECTランプ(赤)

バッテリーが接続されていない時に点灯します。また、充電クリップをバッテリーのプラス端子、マイナス端子に逆に接続したときに点滅します。

CHARGEランプ(緑)

充電時に点滅します。
充電完了時に点灯します。

POWERランプ(赤) 『通電ランプ』



コネクタ差込口

充電クリップ(赤)

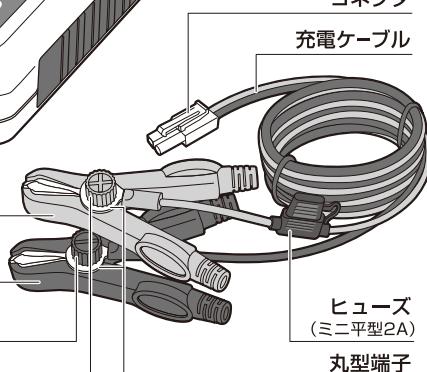
バッテリーのプラス端子に接続します。

充電クリップ(黒)

バッテリーのマイナス端子に接続します。

固定ネジ(黒)

固定ネジ(赤)



■使いかた

以下の手順でバッテリーを充電します。

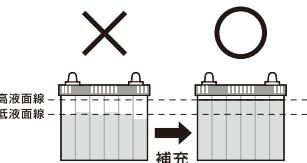
- ①バッテリーにつなぐ → ②電源プラグを差し込む
→ ③充電を始める → ④充電完了

バッテリーにつなぐ前に

- ① 充電するバッテリーが本製品で充電できる種類・仕様であることを確認してください。(P.3参照)

※バッテリーの端子電圧が3V以下まで低下している場合や劣化が著しい場合は充電できないことがあります。

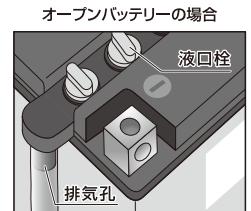
- ② オープンバッテリーの場合、バッテリー液の液面を確認してください。液面が低下している場合は最高液面線までバッテリー液を補充してください。そのまま充電すると、過熱、爆発の原因になります。(バッテリー液の補充のしかたはバッテリーの取扱説明書をご確認ください。)



- ③ 充電ケーブル、充電クリップ、電源プラグに損傷がないことを確認してください。

- ④ バッテリーの端子に腐食物が付着している場合は、市販のワイヤーブラシや目の細かい紙やすりなどで腐食物を取り除いてください。

- ⑤ オープンバッテリーの場合、液口栓の排気孔を点検して、詰まりなどがあれば、取り除いてください。排気孔が詰まった状態で充電すると、充電中に発生するガスによりバッテリーの内圧が上昇し、バッテリーが破損することがあります。



① 充電ケーブルをバッテリーにつなぐ

バッテリーを車両に搭載したままで充電することができます。

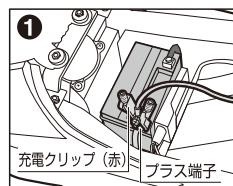
充電クリップを使用する場合

- ① 充電クリップ(赤)をバッテリーのプラス端子につなぐ

- ② 充電クリップ(黒)をバッテリーのマイナス端子につなぐ

※充電クリップがバッテリーの端子から外れないように、しっかりと正しく接続してください。

※接続する前に充電クリップの固定ネジが緩んでいないことを確認してください。



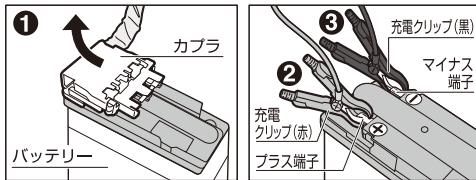
■ 使いかた

重要

原付バイクへの接続例

- ① バッテリーからカプラを外す。
- ② 充電クリップ(赤)をバッテリーのプラス端子につなぐ。
- ③ 充電クリップ(黒)をバッテリーのマイナス端子につなぐ。

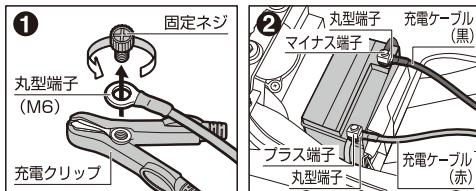
*充電クリップがバッテリーの端子から外れないように、しっかりと正しく接続してください。



丸型端子を使用する場合

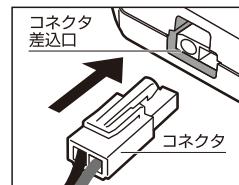
- ① 充電クリップの固定ネジを反時計方向に回してはずし、丸型端子の状態にする。
 - ② 丸型端子を以下の順番でバッテリーに接続してください。
- ① ケーブル(赤)の丸型端子をバッテリーのプラス端子に接続
 - ② ケーブル(黒)の丸型端子をバッテリーのマイナス端子に接続

*バッテリーに付属しているボルトを使用して丸型端子とバッテリーを接続してください。(車両側の配線と共に締めてください。)



② 本体と充電ケーブルをつなぐ

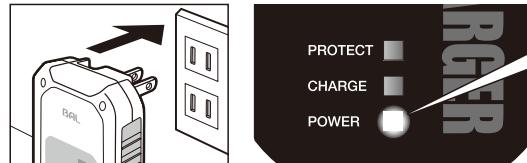
本体のコネクタ差込口に充電ケーブルのコネクタを差し込んでください。



③ 電源プラグを差し込む

電源プラグを家庭用のコンセントに差し込んでください。本体のPOWERランプが点灯し、充電開始状態になります。

*家庭用のコンセントと車両が離れている場合は、市販の延長コードを使用してください。



? 本体のPROTECTランプが点滅する。

充電ケーブルのプラス(赤)とマイナス(黒)を逆につないでいます。充電クリップ(または丸型端子)をバッテリーの端子から一度取り外して、正しく接続しなおしてください。

? 本体のPROTECTランプが点灯する。

バッテリーが接続されていません。バッテリーとの接続を確認してください。

重要

■ 使いかた

④ 充電を始める

自動的に充電が始まり、CHARGEランプ(緑)が点滅します。



CHARGEランプが点滅して充電が始まります。

バッテリー回復機能

CHARGEランプが点滅している状態で、バッテリーの端子電圧がDC3V～10.5Vの場合、自動的に回復充電を行い、バッテリーを活性化させます。
バッテリーの端子電圧がDC10.5V以上になると通常の充電になります。

*バッテリーの状態によっては回復充電の効果が充分でない場合があります。また、セル間がショートしているたり、バッテリーが完全に劣化している場合は、回復充電を行っても回復しません。

過放電したものや放置されたバッテリーに見られる現象に『サルフェーション』があります。サルフェーションが起こっているバッテリーは、極板の反応面積が小さくなっているため、容量が低下し、更に進行すると化学反応そのものが起らなくなり充電しなくなります。本製品は電圧が低下し、サルフェーションを起こしている可能性があるバッテリーに対して回復充電を行い、極板の反応面積を大きくしてから通常充電を行います。

? 充電を開始するとすぐに充電完了の状態になる。
P.9 故障と処置の項目を確認してください。

<参考>充電時間について

*以下の表に記載されている充電時間は新品バッテリーを液温25℃、約50%放電した状態から、充電完了の状態になるまでの目安の時間です。バッテリーの状態によって、充電時間は異なります。

容量	充電時間	車種例
3Ah	約3時間	原付
6Ah	約5時間	小・中型バイク
12Ah	約9時間	大型バイク

■ 使いかた

重要

⑤ 充電完了

CHARGEランプが点灯すると充電完了です。

※充電完了の状態になってしまっても、微電流による充電(維持充電)を行っていますので、さらに1~2時間、充電を行うことによって、より完全に近い状態まで充電します。

維持充電を行わない場合は、充電クリップをバッテリー端子から取り外してください。
(丸型端子を接続している場合は本体からコネクタを取り外してください。)



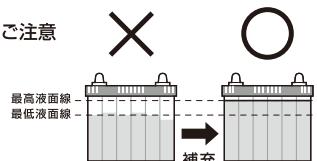
- 充電完了の状態になるが、バッテリーが充電されていない。
? バッテリーが劣化している可能性があります。市販の比重計などを使用して、バッテリーの状態を確認してください。バッテリーが劣化しているようであれば、新しいバッテリーと交換してください。
- バッテリーに異常が出る。
? バッテリーの性能が低下していたり、一度過放電の状態まで放電してしまったバッテリーは、充電の際に過熱や液漏れなどの異常が出る場合があります。充電を中止してバッテリーを交換してください。
- 充電が完了しない。
P.9 故障と処置の項目を確認してください。

維持充電を行う場合

充電完了後も充電器を接続したままにしておくと、微電流による充電を行い、バッテリーの自己放電を防止します。

オープン(開放型)バッテリーで維持充電を行う場合のご注意

長時間維持充電を行う場合は定期的に
バッテリー液の液面を確認してください。
液面が低下している場合はバッテリー液を
補充してください。



使用しないときは

電源プラグを家庭用のコンセントから抜いて、充電クリップをバッテリーから取り外してください。

■ 使用上のご注意

重要

・落下などの強い衝撃を与えた場合は、使用する前に異常がないことを確認してください。
・連続して複数のバッテリーを充電しないでください。

・バッテリーは使用しなくても自然放電します。長時間使用しない場合は、2~3ヶ月に一度充電をしてください。※特に外気温が低い時期はこまめに充電をしてください。

■ 保管上のご注意

重要

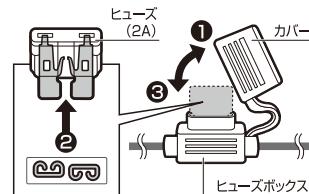
故障の原因になりますので、以下のような場所で保管しないでください。

- ・落しやすい場所や、振動の多い場所
- ・直射日光が当たったり、高温になる場所
- ・塩害やホコリの多い場所、化学性ガス害を受ける場所

■ ヒューズの交換

- ① 充電ケーブルにあるヒューズボックスのカバーを開けてください。
- ② 中のヒューズを引き抜いて新しいヒューズ(2A)と交換してください。
※ヒューズが抜きにくい場合はラジオベンチなどの市販の工具を使って引き抜いてください。
- ③ ヒューズボックスのカバーをしっかりと締めてください。

警告 ヒューズが切れたときは必ず同じ定格のヒューズと交換してください。定格以外のヒューズや針金などを使用すると異常過熱や発火の原因になります。



■ 保護回路について

出力逆接続保護

充電クリップ(赤)と充電クリップ(黒)をバッテリーのプラス端子、マイナス端子に逆に接続した場合、出力を停止し、待機状態となりPROTECTランプが点滅します。

過熱保護

内部の温度が高温になった場合、自動的に出力電流を調整し、温度上昇を抑制します。

出力カット保護

バッテリーとの接続が外れると出力をカットします。

■ 製品仕様

品 番	1739
品 名	バイク充電器
入力電圧	AC100V 50/60Hz
出力電圧	DC14.8V
電源方式	スイッチング電源
出力電流(最大)	0.75A
消費電力	18VA(充電時)
充電方式	定電流定電圧充電方式

防塵等級	IP40(IEC規格)
使用環境	0°C~40°C
適合バッテリー	DC12V
適合バッテリー容量	2.3Ah~30Ah(10時間率容量)
外形寸法	68(w)×32(d)×126(h)mm
質量	135g
充電ケーブル	500mm

改良のため、予告なく仕様および外観を変更することがあります。

■ 故障と処置

修理のご依頼、及びお問い合わせをされる前に、以下の内容をご確認ください。以下の処置を行っても状態に変化がない場合はお買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。



保証書

型名		No.1739 バイク充電器	
保証期間		1年間	お買上げ年月日
お客様	ご住所	〒	
	ふりがな	TEL()	—
販売店	住所・店名	TEL	様

この度は、弊社製品をお求めいただきありがとうございます。本書は本記載内容で無償修理することをお約束するものです。

1. 取扱説明書に従っての正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合には、商品と本書をご持参ご提示の上お買上げの販売店または弊社にご依頼ください。
2. 二次的に発生する損失の補償および、下記のような場合には、保証対象には含まれません。
 1) 使用上の誤り、あるいはメンテナンス等の義務を怠ったために発生した故障および損傷。
 2) 改造や修理による故障および損傷。
 3) お買上げ後の移動、落下などによる故障および損傷。
 4) ご使用後のキズ、変色、汚れおよび保管上の不備による損傷。
 5) 消耗が起因とする故障および損傷、または消耗品の交換。
 6) 火災、塗装、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変、あるいは外部要因による故障および損傷。
 7) 本書のご提示がない場合。
 8) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 9) ご転居の場合は事前にお買上げの販売店にご相談ください。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
 ●なお、保証の要否は、大変勝手ながら弊社に於いて判断させていただきますので了承ください。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な点がある場合は、お買上げの販売店または弊社にお問い合わせください。

大橋産業株式会社

〒570-0033 大阪府守口市大宮通3丁目1番14号 TEL06-6996-2631

URL <http://www.bal-ohashi.com>

アフターサービス

1. 保証書について
 保証書は必ず「お買上げ年月日、お買上げの販売店名」等の記入をお確かめのうえ、お買上げの販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買上げ日から1年間です。
 この保証書は、本製品のみの保証であって、本製品以外の故障、損害、修理等の責任は一切負いません。
2. 修理のご依頼について
 保証期間内は恐れ入りますが、製品に保証書を添えて、お買上げの販売店までご持参ください。保証規定にもとづき修理させていただきます。
3. 補修用性能部品の最低保有期間
 この商品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は、製造打切り後6年間です。
4. アフターサービス等について、ご不明な点がございましたら、お買上げの販売店もしくは弊社までお問い合わせください。